

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）
及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 2 月 6 日

上場会社名 東洋製罐株式会社
コード番号 5901

上場取引所 東 大
本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.toyo-seikan.co.jp>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 三木 啓史

問合せ先責任者 役職名 総務部長 氏名 山縣 宗夫

TEL(03)3508 - 2113

第 3 四半期決算取締役会開催日 平成 16 年 2 月 6 日

米国会計基準採用の有無 無

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 :

・連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結 (新規) 1 社 (除外) - 社 持分法 (新規) - 社 (除外) - 社

四半期決算の開示は当第 1 四半期からの開示となるため、15 年 3 月期第 3 四半期の実績、対前年第 3 四半期増減率については記載を省略しております。

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況（連結）(平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日)

(1)経営成績（連結）の進捗状況 (注)本表及び添付資料は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	513,180	-	22,822	-	22,617	-
15 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-	-	-
(参考)15 年 3 月期	696,361	0.0	21,279	1.1	19,016	0.5

	第 3 四半期(当期)純利益		1 株当たり 第 3 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり第 3 四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
16 年 3 月期第 3 四半期	13,681	-	64.10		-	
15 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-		-	
(参考)15 年 3 月期	8,267	16.9	36.89		-	

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1 株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円 銭	
16 年 3 月期第 3 四半期	897,664		576,815		64.3		2,702.67	
15 年 3 月期第 3 四半期	-		-		-		-	
(参考)15 年 3 月期	882,104		552,866		62.7		2,588.45	

3. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期のセグメント別経営成績（連結）の進捗状況

	包装容器 関連事業	鋼板関連 事業	その他 事業	計
外部顧客に対する売上高	441,518	44,473	27,188	513,180
セグメント間の内部売上高又は振替高	219	37,628	4,207	42,055
第 3 四半期営業利益	18,919	1,822	1,972	22,713

	消去又は 全社	連結
外部顧客に対する売上高	-	513,180
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,055	-
第 3 四半期営業利益	108	22,822

4. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
通 期 (A)	百万円 % 660,000	百万円 % 20,000	百万円 % 12,000	円 銭 56.22
前回予想 (B) (平成15年11月21日発表)	660,000	16,000	9,000	42.17
増減 (A - B) : 増減率	- -	4,000 25.0	3,000 33.3	14.05

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在のデータにより経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

< 参考 1. > 平成16年3月期第3四半期の業績概況（個別）（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況 (注) 本表及び添付資料は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年3月期第3四半期	281,785 -	11,947 -	13,584 -
15年3月期第3四半期	- -	- -	- -
(参考)15年3月期	395,569 4.2	7,953 30.9	8,487 25.6

	第3四半期(当期)純利益	1株当たり 第3四半期(当期)純利益
	百万円 %	円 銭
16年3月期第3四半期	9,849 -	46.10
15年3月期第3四半期	- -	-
(参考)15年3月期	3,871 39.4	17.62

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	525,222	402,957	76.7	1,886.32
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	514,415	384,267	74.7	1,798.17

< 参考 2. > 平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
通 期 (A)	百万円 % 360,000	百万円 % 11,000	百万円 % 8,000	円 銭 37.45
前回予想 (B) (平成15年11月21日発表)	360,000	8,000	6,000	28.08
増減 (A - B) : 増減率	- -	3,000 37.5	2,000 33.3	9.37

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在のデータにより経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

5.平成16年3月期 第3四半期連結業績の概況

当第3四半期(平成15年4月1日から平成15年12月31日まで)におきまして、当社グループは業績の回復を図るべく、生産・販売・研究開発の各分野で業務改革に取り組み、全力を挙げて努力しました結果、売上高は5,131億80百万円、経常利益は226億17百万円、当第3四半期純利益は136億81百万円となりました。

各セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

【包装容器関連事業】

売上高は4,415億18百万円となり、営業利益は189億19百万円となりました。

缶詰用空缶・その他金属製品の製造販売

飲料用空缶では、アルコール飲料向けは、チューハイ向けが増加しましたものの、近年売上が増加していた発泡酒向けが酒税法改正による税率引き上げの影響を受け低迷したため、売上が減少いたしました。また、清涼飲料向けは引き続き缶からペットボトルへの転換が進んだことにより売上が減少し、飲料用空缶全体の売上高は前年同期を下回る結果となりました。中でもリシールできる容器が好まれるお茶類・炭酸飲料・健康飲料向けは大きく売上が減少いたしました。

メタル容器では、まぐる類が伸長したことに加え、さば・いわしなどが健康食品として注目された水産食品向けや、殺虫剤・頭髮用品向けのエアゾール缶において売上高の増加はありましたものの、粉ミルク・入浴剤・自動車用品向けや1.8リットル缶が減少し、調理食品・食用油向けもプラスチック製品などへ移行したことなどから、売上高は前年同期を下回りました。

プラスチック製品の製造販売

飲料用ペットボトルの市場では、500mlを超える大容量ボトルについては、ミネラルウォーター向けやアミノ酸ブームで人気を呼んだ健康飲料向けを主体に家庭内消費が増加し、需要は伸長いたしました。また500ml以下の小容量ボトルも、リシールできる利便性が消費者に支持されているほか、自動販売機へのさらなる投入で市場が拡大したお茶類向けや、大容量ボトル同様にアミノ酸ブームで市場が拡大した健康飲料向けを主体に需要が伸長いたしました。中でも350ml以下のボトルの需要は、自動販売機での市場拡大と冬場の加温販売の進展により前年同期を大きく上回りました。しかしながら、飲料用ペットボトル全体の売上高は、軽量化の推進や350ml以下のボトルの増加と競争激化の影響を受け販売価格が低下したため、前年同期を下回りました。

プラスチックボトルでは、たれ類向けで壺からの移行や販路の拡大があり売上高の増加はありましたものの、マヨネーズ・食用油向けや医療向け検査容器の減少に加え、洗濯用洗剤向けやシャンプー・リンスなどの頭髮用品向けが低迷し、売上高は前年同期を下回りました。

プラスチックフィルムでは、菓子・飲料・カレー向けが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

プラスチックキャップでは、お茶類向けの増加や新たに乳飲料向けでストローキャップが採用されたことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス製品の製造販売

びん製品では、需要の減少に歯止めがかからない市場環境の中で、医薬系ドリンク・焼酎・ビール向けで業界水準を上回る伸長はありましたが、清涼飲料・食料・調味料向けが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

ハウスウエア製品では、低価格の輸入品の増加などの影響により、売上高は前年同期を下回りました。

紙製品の製造販売

紙コップ製品では、アイスクリーム向けの冷菓コップが伸長しましたが、自動販売機向けの飲料コップやヨーグルト向けなどの容器コップが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

印刷紙器製品では、Eフルーツ等美粧製品やビール・加工食品・化学品向けのマイクロフルーツ製品が伸長しましたものの、加工食品向けの一般紙器製品やビール・一般清涼飲料向けなどのジャケットパック製品が低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。

段ボール製品では、缶チューハイ・清涼飲料向けなどのラップ・アラウンド製品や青果物・清涼飲料・加工食品向けの一般製品などが順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

【鋼板関連事業】

売上高は444億73百万円となり、営業利益は18億22百万円となりました。

シルバートップ（電気亜鉛メッキ鋼板）は、ベアリング向けは堅調でしたが、電気・電子機器、自動車、事務用機器向けがいずれも減少し、全体として売上高は前年同期を下回りました。

ニッケルトップ（ニッケルメッキ鋼板）は、電気・電子機器向けが増加しましたが、電池、自動車向けは振るわず、全体として売上高は前年同期を下回りました。

ビニトップ（高級化粧鋼板）は、建築材料向けでプレハブ、カーテンレール用が減少しましたものの、ユニットバス用が環境対応型高級化粧鋼板の進展により増加し、電気機器向けも冷蔵庫用が増加したため、全体として売上高は前年同期をやや上回りました。

薄板類は、電池、自動車向けは減少しましたが、梱包用帯鋼や受託生産が増加し、全体として売上高は前年同期を大きく上回りました。

その他の品種は、建材は増加しましたが住機・住設が低調に推移したため、全体として売上高は前年同期をやや下回りました。

【その他事業】

釉薬・肥料・顔料・ゲルコート及び硬質合金・電子機器部品・機械器具などの製造販売、石油製品などの販売、損害保険代理業及び不動産管理につきましては、売上高は271億88百万円となり、営業利益は19億72百万円となりました。

6. 平成16年3月期の業績予想

平成16年3月期通期の業績予想（連結および個別）につきまして、当第3四半期の実績を踏まえ、平成15年11月21日の中間決算発表時の予想を修正しております。

売上高につきましては、概ね予想通りに推移しておりますので変更はありません。

利益につきましては、当社グループ一丸となって鋭意努力している諸経費の削減の効果などが寄与し、中間決算発表時の予想を上回る見込みであるため上方修正いたします。

7. 連結財務諸表等

(1) 第3四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	当第3四半期末 平成15年12月31日	前連結会計年度末 平成15年3月31日
(資産の部)		
流動資産	463,074	452,159
現金及び預金	156,616	160,428
受取手形及び売掛金	216,984	198,077
有価証券	40	62
棚卸資産	74,917	79,496
繰延税金資産	8,393	8,367
その他	8,654	8,110
貸倒引当金	2,532	2,383
固定資産	434,590	429,944
有形固定資産	301,475	310,707
建物及び構築物	108,024	112,757
機械装置及び運搬具	110,440	124,336
土地	58,741	56,192
その他	24,268	17,421
無形固定資産	2,163	2,157
投資その他の資産	130,951	117,080
投資有価証券	91,529	69,366
繰延税金資産	31,069	40,105
その他	10,878	9,986
貸倒引当金	2,525	2,378
資産合計	897,664	882,104

区 分	当第3四半期末 平成15年12月31日	前連結会計年度末 平成15年3月31日
(負債の部)		
流動負債	137,779	157,856
支払手形及び買掛金	69,161	71,576
短期借入金	16,344	23,472
未払法人税等	3,154	7,125
その他	49,118	55,681
固定負債	140,257	130,313
社 債	8,000	8,000
長期借入金	15,634	7,069
繰延税金負債	1,881	1,767
退職給付引当金	105,622	104,832
特別修繕引当金	6,145	5,475
連結調整勘定	936	1,188
その他	2,037	1,979
負債合計	278,036	288,169
(少数株主持分)		
少数株主持分	42,812	41,067
(資本の部)		
資 本 金	11,094	11,094
利益剰余金	539,890	528,167
其他有価証券評価差額金	30,482	18,179
為替換算調整勘定	0	42
自己株式	4,651	4,617
資本合計	576,815	552,866
負債、少数株主持分 及び資本合計	897,664	882,104

(注) 四半期決算の開示は当連結会計年度からの開示となるため、前第3四半期末の実績については記載を省略しております。

(2) 第3四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

区 分	当第3四半期 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日	前連結会計年度 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
売 上 高	513,180	696,361
売 上 原 価	429,030	593,752
売 上 総 利 益	84,150	102,609
販売費及び一般管理費	61,327	81,330
営 業 利 益	22,822	21,279
営 業 外 収 益	4,695	8,150
受 取 利 息	206	362
受 取 配 当 金	806	1,113
賃 貸 収 入	1,153	1,659
連結調整勘定償却額	304	975
そ の 他	2,225	4,040
営 業 外 費 用	4,900	10,413
支 払 利 息	493	1,368
賃貸資産管理費用	827	1,098
固定資産除却損	861	2,005
そ の 他	2,718	5,940
経 常 利 益	22,617	19,016
特 別 利 益	1,544	10,622
固定資産売却益	1,544	-
退職給付引当金取崩益	-	10,622
特 別 損 失	-	5,731
固定資産臨時償却費	-	4,150
事業再編費用	-	1,580
税金等調整前第3四半期純利益	24,161	* 23,908
法人税、住民税及び事業税	9,246	12,749
法人税等調整額	-	1,896
少数株主利益	1,233	994
第3四半期純利益	13,681	* 8,267

- (注) 1. *はそれぞれ税金等調整前当期純利益・当期純利益となります。
2. 四半期決算の開示は当連結会計年度からの開示となるため、前第3四半期の実績については記載を省略しております。
3. 当第3四半期における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税、住民税及び事業税」は、法人税等調整額を含めております。